

歌や踊りに「だいすき」込めて

有都こども園が祖父母参観



祖父母にプレゼントを手渡す園児

「敬老の日」を前にした9月10日、有都こども園の祖父母参観が有都福祉交流センターで行われ、0〜5歳の園児104人が、祖母の前で歌や踊りなどを披露しました。



祖父母の前で歌を披露する園児たち

切にしてくれるおじいちゃん、おばあちゃんに、園児たちの成長や元気いっぱいな姿を見てもらおうと、毎年、実施しています。園児たちはクラスごとに分かれて、日ごろ園で歌っている歌や踊り、体操などを披露。「大きな栗の木の下で」「や」とんぼのめがね」などを、かわいい振り付けなどを交えながら、元気いっぱいに歌っていました。また、園児たちが紙を染めたり、園で育てたオクラなどの野菜で作ったスタンプを押したうちわを祖父母たちにプレゼント。うちわには、「だいすき」や「ありがとう」のメッセージも書かれており、祖父母たちは園児たちからうれしそうに受け取っていました。

八幡市の子ども太鼓まつり 世界に向けて発信

9月1〜7日の7日間、日本で初めて開催された「第25回国際博物館会議(ICOM)京都大会」の最終日、地域の伝統芸能や祭りを継承する子どもたちによるパフォーマンスが京都国立博物館で行われ、市内の中学生ら約80人が「子ども太鼓まつり」を披露しました。

YOTO博物館子どもフォーラム」が行われ、京都府内から選ばれた4地域の伝統芸能や祭りの一つとして、「子ども太鼓まつり」が出演しました。

子どもたちは太鼓の音に合わせて、「ヨッサー、ヨッサー」と威勢の良い掛け声をあげながら同博物館前を往復。世界各国からの同会議参加者たちも見学する中、子どもたちは勇壮な姿を披露し、八幡が誇る伝統的な祭りを世界に向けて発信していました。



「子ども太鼓まつり」を披露する子どもたち

まちの話題

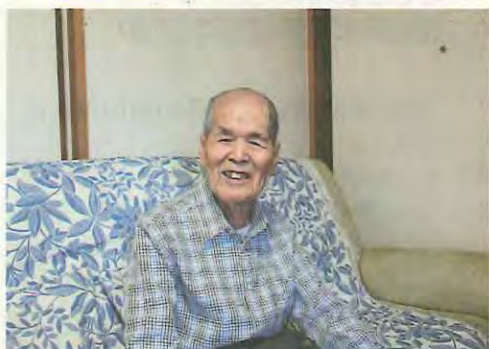
このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

地球レンジャー 園児に啓発

八幡市環境市民ネット

八幡市環境市民ネットのメンバーらが扮する「地球レンジャー」が9月4日、わかたけ保育園を訪れ、紙芝居などを通して2〜5歳の園児105人と一緒に環境問題について考えました。この取り組みは、環境保全の啓発などの活動を行っている八幡市環境市民ネットと市が協力し、園児たちに楽しみながら環境について学んでもらおうと、毎年、市内の幼稚園や保育園などで実施しています。紙芝居では、地球レンジャーたちが、地球温暖化や海洋汚染

今月のこの人 100歳 ブログ、掲示板作る



せき みちお 関 通夫さん

プロフィール
大正8年4月生まれ。今年の4月に100歳を迎えた。家族は、97歳の妻と子ども3人、孫8人、ひ孫17人。

今年度、100歳を迎えられた関さん。毎日、午前中は自宅裏の畑で作業をし、1年を通して、季節の野菜を育てています。できた野菜は家族に配ったり、自分で調理して食べたりします。趣味は80歳から勉強を始めたパソコン。自身でブログや掲示板を作り、近況報告を投稿し、子どもや孫たちとやりとりをしています。「長生きの一番の理由は、家族が手厚く見守ってくれること。あとは、畑仕事やパ

ソコンで身体や頭を健康に保つことと、何でも食べて規則正しい生活を送ることです」と話す関さん。

「100歳という一つの峠を越え、この先もつまづかないように、いただいた命を大切にしていきたいです」と家族や身の回りをサポートしてくれる介護関係の皆さんに感謝しながら過ごしています。

本コーナーでは、市にゆかりのある人物や団体等を紹介していきます。自薦・他薦問わず、紹介希望者を募集していますので、詳しくは、市ホームページをご覧ください。か、秘書広報課へお問合せください。